

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成24年11月29日 (2012.11.29)

【公開番号】特開2010-131988(P2010-131988A)  
 【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-024  
 【出願番号】特願2009-251786(P2009-251786)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/045 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/055 (2006.01)**

【 F I 】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月15日 (2012.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを備えるインクジェット記録装置において、

インク滴を吐出させるために圧力発生手段に印加する駆動信号が、圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第 1 のパルスを有する吐出パルスと、を含み、

前記予備パルスはパルス幅が  $2AL$  ( $AL$  は圧力室における圧力波の音響的共振周期の  $1/2$ ) 以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを用いたインクジェット記録方法であって、

圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第 1 のパルスを有する吐出パルスと、を含む駆動信号を圧力発生手段に印加してインク滴を吐出させる工程を有し、

前記予備パルスはパルス幅が  $2AL$  ( $AL$  は圧力室における圧力波の音響的共振周期の  $1/2$ ) 以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

１．圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを備えるインクジェット記録装置において、

インク滴を吐出させるために圧力発生手段に印加する駆動信号が、圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第１のパルスを有する吐出パルスと、を含み、

前記予備パルスはパルス幅が $2AL$ （ $AL$ は圧力室における圧力波の音響的共振周期の $1/2$ ）以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録装置。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２３】

１２．圧力室と圧力室の容積を変化させる圧力発生手段とを有し、該圧力発生手段を駆動することにより圧力室内のインクをインク滴としてノズルから吐出せしめる記録ヘッドを用いたインクジェット記録方法であって、

圧力室の容積を収縮させた後に膨張させる予備パルスと、該予備パルスに引き続いて印加されるとともに圧力室の容積を膨張させた後に収縮させる第１のパルスを有する吐出パルスと、を含む駆動信号を圧力発生手段に印加してインク滴を吐出させる工程を有し、

前記予備パルスはパルス幅が $2AL$ （ $AL$ は圧力室における圧力波の音響的共振周期の $1/2$ ）以上の矩形波であることを特徴とするインクジェット記録方法。